

第 1 回地区懇談会（豊岡第三地区）の概要	
日 時	平成 29 年 7 月 28 日（金）午後 7 時～午後 9 時
場 所	黒須公民館
出席委員	浅見晴夫委員 荒井恵久委員 新野貴之委員 大山久子委員 加藤秀世委員 草野憲司委員 徳永美代子委員 西澤明人委員 松下和英委員 溝上仁委員
欠席委員	出川潤委員 西村隆委員 繁田光委員
傍聴者	8 名
○委員意見 ・大雨時、黒須公民館は避難場所として適切か。また、和室が 2 階にあるため、避難者が高齢者の場合、上がるのが大変である。 ・黒須公民館をこのまま使うのであれば、エレベータの設置が必要である。また、トイレも老朽化しているので、きれいにして欲しい。 ・黒須・高倉地区は、自然災害が少なく、穏やかな地域だと思う。 ・広い部屋で催しを行いたい場合、黒須や高倉公民館ではなく、設備が整っている藤沢や金子公民館へ行くケースが多い。この点にも留意いただきたい。 ・河原町（高台側の地区）から黒須公民館へ避難をする場合、国道 16 号が 4 車線化したことにより横断歩道が移設され厳しい。横断対策については、自治会長から市を介し国に要望してもらっている。 ・公民館の老朽化について触れてきたが、黒須地区の小中学校も同様に老朽化している。児童・生徒のことを考えると、わがままばかり言えないが、公民館は、住民の交流の場として大事な場所である。今後の公共施設マネジメントに期待している。 ・春日町 1 丁目地区にも、市内循環バスが通るようになり便利になったが、便数が少ないので、利用しにくい。傍目からは大勢乗車しているので、運行に必要な運賃はとって良いので、便数を増やして欲しい。 ・高倉地区の公共施設は、高い場所（山の上）にあるので、同じ地区内の住民でも、下の地区（高倉 1～2 丁目、5 丁目）の住民は、利用しにくい。また、避難するにも大変である。 ・高倉の住民の中にも、坂の少ない黒須公民館を好む人がいると思う。ただし、設備の老朽化は著しいので、是非改修して欲しい。 ・高倉地区を通る市内循環バスは、国道 16 号と山の上の地区（高倉小学校周辺）が中心であり、利用しにくい。 ・入間は、西武鉄道、圏央道、国道 16 号があり、交通アクセスは良い。一方、高倉地区には、大きな公園もなく、遊具もない。道路が狭く、幹線道路の抜け道に使われるケースが多いことから、狭い道でスピードを出した自動車を良く見かける。道路を含めた交通安全対策が必要ではないか。	

- ・豊岡第三地区には、河川が2本あり、河川敷の有効活用も課題ではないか。
 - ・黒須地区の学校のトイレの話があったが、高倉小学校のトイレも汚い。トイレをきれいにすれば、児童の気分も良くなると思う。
 - ・公共施設を整備する際、アンケートを実施し、施設に必要な要素をあげてもらうのはどうか。
 - ・高倉地区からも意見があったが、黒須地区の道路も狭い。抜け道になる道路も多いので、対策が必要である。
 - ・公民館を訪れると、地元の人の顔が見えてとても良い。例えば、施設の管理で住民と一緒に汗をかくと、施設に対する愛情が芽生える。黒須公民館は、地元住民に愛されている施設だと感じる。是非、住民が関わって支えていくことを大切にして欲しい。
 - ・黒須団地の脇（狭山警察署跡地）にマンションが建設された。敷地内に公園がないので、子ども達が黒須団地の公園に遊びに来る。声がうるさいという住民もいるが、将来を案じると、子どもが増え、育つことは大切だと思う。個人的には、可能な限り遊ばせてあげたい。
 - ・老人憩いの家は、使い勝手が良い施設である。今後のあり方を地域で検討していきたい。
 - ・地区懇談会を進める上では、単に施設をどうするということだけでなく、公共施設マネジメントの方向性を踏まえて進めていかなくてはならないと思う。
 - ・（豊岡にある）市民体育館が改修工事を行えば、地区体育館に利用者が流れてくる。こうした点にも充分配慮願いたい。
 - ・地区懇談会で寄せられた意見は、どのように扱われるのか。
- 意見については、公共施設マネジメントの方向性を考慮して、できる限り計画に反映していきたい。
- ・通学区のずれは、どのように捉えているか。
- 通学区のズレは、課題である。施設の再配置に合わせて検討する課題である。
- ・広域対応施設に対する意見も出せるのか。
- 意見を出せる場を設定したい。
- ・要望はたくさんあるが、皆で考えて、将来の地域のあるべき姿、公共施設のあり方を考える機会としていきたい。

第 2 回地区懇談会（豊岡第三地区）の概要	
日 時	平成 29 年 8 月 9 日（水）午後 7 時～午後 9 時
場 所	高倉公民館
出席委員	浅見晴夫委員 荒井恵久委員 大山久子委員 加藤秀世委員 出川潤委員 徳永美代子委員 西村隆委員 松下和英委員 溝上仁委員
欠席委員	新野貴之委員 草野憲司委員 西澤明人委員 繁田光委員
傍聴者	4 名
○委員意見 ・学校の統合により、1つの学校が廃止となるが、2校維持することはやはり費用がかかるのか。また、学校用地は売却が前提か。 →全体説明会でも示した通り、全ての施設をこのまま維持することは困難である。また、多くの公共施設が、老朽化により建替えなくてはならない時期を迎えようとしている。選択と集中により、廃止を伴うが、残す施設は、計画的に建替え、機能やサービスを充実させていきたい。学校用地については、売却が前提ではなく、まず有効活用について検討し、施設の貸与や転用を考える。ただし、不要になった場合を売却も検討する。いずれにせよ、地域の要望も把握する必要がある。 ・公民館をどうするかが、地域住民の注目点であり、建替えは悲願である。 →黒須及び高倉公民館は、老朽化対策が必要であり、建替えを視野に入れて総合的に考えていく。 ・公民館の統合と建替えは同時期に行うのか。 →できれば、地区センター化は、市内9地区同時に行いたい。ただし、豊岡第三地区の公民館の老朽化は認識しているので、こうした点を踏まえて施設整備の時期を検討したい。 ・小学校については、児童の推移を見ると統合はやむを得ないと思う。 ・今後、高齢者の増加が見込めるが、自宅から近い場所に地域住民が集まれる場所が必要ではないか。 ・学校跡地は有効に活用されるのか。 →地域の意見を聞きながら、有効活用したい。 ・地区センターの概要を知りたい。 →地区センターは、従来の公民館に加えて、支所、自治振興、福祉、地域包括支援センター機能を擁す複合施設を考えており、地域のワンストップ窓口になることを想定している。現段階で、組織など具体的な内容はまとまっていないが、事業計画で配置が決まり次第、既存の施設を活用する段階、建替える段階の2段階で、どのような整備ができるか検討し、合わせて組織も検討していきたい。 ・老人憩いの家は、地元自治体が管理する方向で進んでいるということで良いか。	

- 老人憩いの家は、当面、老人クラブや自治会の意向を踏まえて活用を検討する。一方、老人クラブの会員数の減少により、成り立たないケースも発生していることから、施設が必要無くなった場合は、除却を考える必要がある。老人憩いの家は、市内に 49 施設あり、施設ごとに状況が異なるため、個別に対応することとなる。
- ・人口減少を踏まえた統廃合の話題が多いが、若い世代に住んでもらう方策はないのか。
- 市では、公共施設マネジメントと並行して、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に取り組んでいる。この計画の基本目標は、①働きやすいまちをつくる、②ずっと住みたいまちをつくる、③子どもの育ちを支える、④まちの魅力を活かすということである。こうした取組を通じて、若い世代に住んでもらえる「まち」にしたい。
- 市では、この取組を通じて、人口減少をより少なくすることを考えている。
- ・黒須・高倉地区は、高齢化が進んでいる。施設の場所はともかく統廃合はやむを得ないと感じる。ただし、施設までの距離が伸びると思うので、交通手段の確保をお願いしたい。学校については、昔と違い、長い距離を徒歩で通学させるのではなく、スクールバスを導入すべきではないか。
 - ・黒須公民館の老朽化は顕著である。高倉と一緒にするのであれば、両地区の中間地点が良いのではないか。
 - ・高倉には、多くの新築住宅が建設されたが、30年後には、子ども達も大人になって、(市内での働き口が少ないため)都内へ出て働くのではないか。入間市は、東京のベッドタウンであるため、この繰り返しが起きている。
 - ・多くの公共施設は、人口増加時代に建てられたので、人口減少に伴う縮小は当然必要である。減少はやむを得ないが、高齢者対策として交通手段の確保が必要である。今後、高齢者が増えるので、交通対策以外にも様々な対策が必要になってくる。
 - ・入間市の中でも、黒須・高倉地区は恵まれている。飯能や秩父の山間部は、非常に厳しいと感じる。公共施設マネジメントの取組で、先進事例があれば、是非紹介して欲しい。
 - ・老人憩いの家の現状を知りたい。高齢化が進む中、高齢者向けの様々な対策が必要になるのではないか。
 - ・この地区に住んでいて、余り不便を感じない。市の現状を見るとできることは限られるが、是非頑張って欲しい。
 - ・市役所の建替えを耳にしたが、どのような計画なのか。
- 「市有特定建築物耐震化推進計画」について説明した。
- ・武道館や体育館にはエアコンがないため、夏季の利用は厳しい状況である。
 - ・施設の統廃合により、体育協会の編成に影響があるのか。
- 体育協会の事務局を公民館が担っていることは聞いている。施設の再編で、廃止となる公民館もあるが、編成を見直すことは別の問題と考えている。

第3回地区懇談会（豊岡第三地区）の概要	
日 時	平成29年9月20日（水）午後7時～午後9時
場 所	黒須公民館
出席委員	浅見晴夫委員 荒井恵久委員 大山久子委員 加藤秀世委員 草野憲司委員 徳永美代子委員 西澤明人委員 松下和英委員 溝上仁委員
欠席委員	新野貴之委員 出川潤委員 西村隆委員 繁田光委員
傍聴者	6名
○委員意見 ・高倉小学校は統合され、廃止となるのか。 →事務局案では、そのように説明したが、学校はそれぞれ地域の端にあり、統廃合に向けては、交通手段の確保が必要と考えている。 ・1学年1学級という現実を見ると、統合せざるを得ないと感じる。 ・高倉小学校周辺から黒須小学校へ通うとなると、40～50分かかるのではないかと。 ・確かに40～50分かかるかもしれないが、黒須小学校には、牛沢町（東金子地区）の児童も通っており、そちらの方が遠いのではないかと。統廃合するのであれば、交通手段の確保が必要ではないかと。 ・現在、学校区（通学区）が設定されているが、学校を自由に選べるようにするのも方法の一つである。これまで、所定の学校にどうしても行きたくない場合は、緩和措置があった。 →今後、通学区の見直しがテーマになると考える。実態を把握するとともに、通学区の見直しや交通手段の確保を検討したい。 ・公共施設で開催されるイベントの案内には、「駐車場が少ないため、公共交通機関をご利用ください。」とあるが、夜間のイベントの場合、時間によっては、終バス以降の終了というケースもある。今後、公共交通との連携や施設における駐車場の確保が必要ではないかと。 ・昔、豊岡小学校、豊岡中学校は、丸広百貨店のところにあった。この場所は、立地的に良かった。 ・高倉の児童が黒須小学校へ通うことには無理があるのではないかと。再考願いたい。 ・現時点で、学校の統廃合後の活用が見えない。次の世代へ負債を残す訳にはいかない。可能であれば、売却も考えるべきである。 →選択肢の一つとして、全体計画の中で考えたい。 ・統廃合ありきで進めてしまうと、地域は減退するのではないかと。 →現在は、人口が減少することを想定して、検討を進めている。人口増加が見込めれば、検討し直す必要がある。 ・公民館など、2階建てなのにエレベーターがない。公共施設マネジメントは将来を考	

える上で大事だと思うが、現在利用している人のことも考えて欲しい。使い勝手が悪いと、サークル活動が思うようにできず、解散したケースもあるようだ。

- ・公民館については、2階への上り下りが不便で、2階の利用率が低いのではないかな。
 - ・黒須公民館の大会議室には舞台がないため、発表の際、舞台づくりから始める。舞台は、重い木製の台を重ねて使うため、設営が大変である。
 - ・豊岡第3地区には、高低差の問題がある。高齢者は、イベントを開催しても（高低差で）行きづらいということで、参加できないケースもある。地区内にマイクロバスを走らせることを検討してみてもどうか。
 - ・公民館にエレベータをすぐに設置できないのであれば、階段用の昇降機を設置してみてもどうか。
 - ・現在、公民館2階でのイベントについては、車イスの方を大人4人で担いでいる。担ぐことは危険を伴い、事故が起きてからでは遅いと思う。
 - ・この計画の実行時期はいつか。
- 施設の老朽化や、利用状況など様々な要因があり、時間軸での検討は、再配置が決まった時点での検討となるため、現時点では示すことができない。
- ・小学生といえば、ランドセルに教科書、ノートなどを入れて登下校しているが、荷物を少なくする工夫として、タブレット型端末の導入を検討してみてもどうか。
 - ・市役所、市民会館・中央公民館の耐震化に関する説明を聞いたが、新しい施設のホールの規模はどの程度の収用人員を想定しているのか。
- 使用している団体からの声を踏まえて、700人程度が妥当と考えている。ただし、現在、市民を交えて検討を進めており、決定していない。基本的には、興行用のホールではなく、市民の文化活動の場として必要な要素を整備すべきではないかと考えている。
- ・小中一貫教育を進める中で、無駄のない施設整備を進めて欲しい。

第4回地区懇談会（豊岡第三地区）の概要	
日 時	平成 29 年 10 月 12 日（木）午後 7 時～午後 9 時
場 所	高倉公民館
出席委員	浅見晴夫委員 荒井恵久委員 新野貴之委員 大山久子委員 加藤秀世委員 草野憲司委員 徳永美代子委員 西澤明人委員 松下和英委員
欠席委員	出川潤委員 西村隆委員 繁田光委員 溝上仁委員
傍聴者	3 名
○委員意見 ・公共施設マネジメントの取組みは重要だと分かった。この取組みは、他市に先駆けてやっているのか。また、黒須公民館建設推進委員会として何度も市役所に陳情を行っている。地域住民の悲願を達成して欲しい。 →平成 26 年度に国から「公共施設等総合管理計画」を策定するように通知があり、各自治体で取り組んでいる。入間市は、それよりも前に課題認識があり、先行して取り組んでいる。取組方法は自治体によってやり方は様々である。黒須公民館の再整備は、全体計画の中で実施していきたい。 ・公民館が地区センターに変わると使い方は何が変わるのか。 →黒須公民館を地区センター化すると、高倉公民館は「公民館」ではなくなるが、地域の方が使うことができる集会施設としたい。職員を配置する予定はないが、これまで通り市が管理する予定である。地区センターは、公民館の他に支所、自治振興の支援機能、地域包括支援センターの機能をもった施設として整備していく考えである。一方、高倉公民館は貸館という位置づけになるが、公民館の職員が来て（社会教育）事業を実施することは考えている。 ・地区センターの場所は黒須地区になると思うが、用地の目途がついているのか。 →現状、黒須公民館の位置で考えているが、少しでも黒須地区と高倉地区で利用しやすい位置にしたい。前回、浅間山団地付近の活用について提案があったが、現時点では県営住宅が存在し、今後の見通しは立っていない。 ・黒須公民館は、駐車場が少ない。駐車場のスペースは確保してもらいたい。 →建替えに合わせて検討する必要がある。 ・高倉小学校は、統廃合後売却するという話があった。住民説明及び意見交換会では、廃止を検討する中で、学校は学校として残し、建物の上部を減築し、体育館と公民館として利用していくような意見は出なかったか。 →説明会の時には、具体的な意見としてはなかったが、使い続けることはできないのかという意見はあった。 ・学校を統合したら、1 学年 1 学級だけという学校は無くなるのか。 →事務局の案通りの統合となれば解消される見込みである。統廃合は、地区ごとの人	

- 口推移を考慮しながら、5年、10年、さらに長い期間の中で実施していく。
- ・市では、小中一貫教育を2～3校程度で試験的に導入しているのか。今後、市全体で推進するのか。
- この取組は、全域で推進している。ただし、モデル校として選定している学校もある。
- ・小中一貫教育の学校に何度か行っている。現在は、小学校、中学校とも理想的な人数なので良いのかもしれない。児童、生徒数が少なくなると、不具合が出ることもあるかもしれない。
- 教育委員会が説明している事項ではないが、人数が減ったら減ったなりのやり方がある。同じ小学校を卒業した児童が、複数の中学校に分かれて入学するケースが見受けられる。できれば、同じ中学校に入学できるようにして欲しいという意見も寄せられている。
- ・学校の児童、生徒数は市全体で大きな差が出ないよう（平均的）にしていくのか。学区的には分け方があるのか。
 - ・過去に、学校区（通学区）を決める際、教育委員会が、住民意向をあまり聞かずに決定し、地域と摩擦があった。これが、不登校などの原因になったという話もあった。子ども達のグループは、竹馬の友ではないが、遊んだ仲間と一緒に上がるのが良い。同じ小学校の児童が中学校で分かれるというのは、できればやめてもらいたい。
- 統廃合するにしても様々な課題がある。地域の意見を聞きながら、今は30年後の大きな枠組みを決めているが、その中で学校区の話は、やはり大きな課題と認識している。
- ・待機児童についての考え方を聞きたい。
- 待機児童は、市内全体では、少なからず発生している。しかし、保育所の数があれば解消できる問題ではないことも事実である。歩いて通える距離にないと入所できないという理由や、特定の保育所でなければ入所しないという事例もあるようだ。
- ・統廃合するのであれば、開所時間を延長するなどサービスを向上させないと理解は得られないのではないか。
- 開所時間の延長や、低年齢児の受け入れなど、再編する際はソフトウェアの見直しも合わせて考えていきたい。加えて、民間の保育所とのバランスも考えなければならない。
- ・民間は、保育料が高いのではないか。
- 現在は、補助があるので、公立も民間もほとんど変わらないということである。
- ・学童保育室も同様に、開室時間を延長する必要がある。
 - ・子どもが減っても、利用する人は増えている。設置すれば、利用も増えると思う。
 - ・働いている人は、遅くまで開所していないと送迎ができず困る。

- 送迎の問題はある。自治体によっては駅に子どもを預かる施設を設置し、日中は自治体内の保育所にバスで送迎し、父母の帰りに合わせて駅まで送るということをやっている。送迎の面では、単に自宅の近くにあればいいというものでもない。
- ・自治会への譲渡というのは、老人クラブの状況に応じて対応するという事で良いと思う。従って、老人クラブの意見を聞いてからにして欲しい。自治会の管理にしても、持て余すことも考えられる。近年、老人クラブ（老人会）に入る人が少なくなっているところもあると聞いている。
 - ・介護の関係は地域で対応していく風潮になってきている。老人憩いの家をその拠点にしたい。世代間交流の場所にもしたい。是非、啓発活動に努めていく。
 - ・高齢者だけでなく、子育て世代などにも使えるようにしていきたい。借地に関しては、相続の問題がある。相続があつて、市への買い取り請求があつたら対応するのか。
- 賃貸借契約の中に、相続が生じた際の買い取り条項がついている場合がある。その時は検討せざるを得ない。
- ・施設の老朽化に対して、各自治会なり老人会が費用を積み立てて、自分達でメンテナンスをしていくという方針が今後市から示されるかもしれない。
 - ・昔、建設に携わったことがある。その時は、将来自治会に譲渡するという話もしていた。しかし、今となつては、市が修繕してくれるので助かっている。
 - ・自治会館は、自治会で光熱水費を払っている。施設が賃貸だとその使用料も払っている。自治会の中で積み立ててやりくりしている。
- 自治会との棲み分けは、今後整理しなければならない。
- ・黒須団地にある施設の場合、土地は無償で、高熱水費は自治会から出してもらっている。足りない部分は、老人会が出している。子どもを対象にした育成会は現在存在しないが、今後作ろうと思っている。
 - ・武道館もそうだが、古くて雨漏りがしている。補修は何年も手つかずの状態である。今後、長寿命化ということになっているが、施設の建設に費用がかかると、長寿命化まで回らないとなる懸念もあるので、既存の施設についても修繕してもらいたい。
- 改修については、全体の計画の中で検討し、その間は必要な修繕を行っていききたい。
- ・市内全体で見て、児童数が少ない小学校は統廃合するということか。今後 30 年間で、市内に人を流入させ、若い人を呼び込むという考えはないのか。黒須地区は子どもが遊ぶ公園がないという声もある。生産年齢人口を増やさないと、人口が減っていく。子どもを増やしていこうという攻めの部分はないのか。
- 人口減少対策は別の部署が所管しているが、戦略的に地区を限定して増やしていこうという計画は現時点ではない。藤沢地区のように人口減少していない地区もある。現在、市内のバランスを考えて 9 つの地区に 1 施設ずつ配置するとしているが、

再整備の順番は条件を見つづつということになる。人口が密集している地区や、当面減りそうにない地区は、それに応じた施設の整備が必要となる。藤沢地区のように、他の地域から流入している地区もあるが、今後 30 年の中で人口が減ってきた際、地域によって再整備の時期が他の地区より早い遅いはあると思う。地区による優先順位については言及できない。

- ・人口が減っている状況で、新たに学校（高校・大学）や企業を誘致する計画はあるのか。

→企業誘致は取り組んでおり、大妻女子大学の跡地に工場が建設されるという計画がある。しかし、全体の土地利用の中で、新たな工業団地の開発の見込みはない。現在の工業団地は、新規で工場が入るようなスペースは無い。従って、まとまった面積がないため、積極的に企業誘致することが難しい。新たな工場誘致というのは市単独ではできないので、国や県と相談しながら一緒に取り組む必要がある。

- ・狭山台は、住宅が増えているし、さらに増える感じがある。マイカーを持っている人がほとんどだが、子ども達が大学へ通うときには、西武線の駅まで行かなければならない。バス路線を拡大すれば、もっと人が来る（住む）のではないか。博物館までは既存路線があるため、もう少し先まで路線を伸ばして欲しいという声もある。

→人口減少対策として様々な対策を検討する中で、交通の便もその一つの課題である。西武線の駅周辺は、東京の通勤圏内ということで、人口の流入が見込める。しかし、駅から少し離れた場所は、住みやすいが、通勤・通学の手段が無いと厳しい。狭山台に限らず、他の地区も同様である。路線バスの誘致となると、市単独でできるものではない。市内の巡回バスなど公共交通については、並行して検討を進めているところ。

- ・豊岡第 3 地区の配置案を見ると、高倉地区の公共施設は、全て無くなってしまうように思える。本当に丁寧に説明しないと、理解は得られないと思う。

- ・市がここまで計画案をまとめているのであれば、黒須公民館建設推進委員会は無駄ということか。地区懇談会で発言のあった意見は少しでも形にして欲しい。

→可能な範囲で計画に反映したい。事業計画が完成した次の段階では、地区センターや学校といった施設ごとの整備計画を策定することになる。その際は、また地域の方や利用者の方の意見を聞く。今後、施設の機能や仕様についても皆さんの意見を参考にしていきたい。公民館の中では、黒須公民館が最も古いと理解している。整備の順番としても、早い方に位置付けたい。

- ・今後、買い物難民も出てくる。巡回バスのようなものがあれば買い物もできる。

→買い物難民の問題、交通の問題は、他の地区でもある。ご意見としていただく。